

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和3年1月

寒さが一段とつものって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？さっそく Newsletter 第34回配信です！ どうぞお楽しみください。

〈 診療科紹介 腎臓外科〉

皆様こんにちは。腎臓外科です。自治医科大学のように、全国的にみて腎臓外科を標榜する科を有する医療機関はあまり多くありません。しかし実際には、現代日本において非常に需要のある分野を扱っています。今回は私たち腎臓外科についてご紹介いたします。

腎臓外科は、自治医科大学附属病院腎臓センター外科部門を担当しています。腎臓センター内科部門（腎臓内科）と協力し慢性腎臓病診療にあたっています。腎機能が増悪し末期腎不全となってしまった患者さんは、腎代替療法として移植治療と透析治療のどちらかを選択することになりますが、双方の手術を腎臓外科で行っております。生体腎移植術、献腎移植術（脳死下および心停止下）、バスキュラーアクセス関連手術（シャント造設術、人工血管挿入術、合併症手術）、腹膜透析用カテーテル関連手術（留置術、抜去術、合併症手術）、透析腎癌手術、鏡視下手術、副甲状腺手術など多岐にわたります。さらに、移植手術後の免疫抑制療法、移植腎生検、急性拒絶反応治療など、私たちの仕事は手術だけでなく内科的な知識も要求されます。透析患者さんが腎移植手術後に1日5000mlの尿が出るようになり末期腎不全でなくなる様子は大変感動的で、是非皆様にも体験していただきたいと思っております。

2005年の病院改編に伴い、腎臓病診療を強化すべく腎臓センターが開設され、内科部門と外科部門が設置されました。これにより当院での腎移植手術件数は飛躍的に増加し、2014年以降は年間30例以上を維持しており、腎移植件数で全国の医療施設の上位に位置しています。さらに透析バスキュラーアクセス手術件数も順調に伸ばし、2014年以降は年間250例前後の手術を行っており、現在では腎臓内科とともに栃木県における腎臓病治療の中心的な役割を担っています。

我が国の透析患者数は約30万人、年間の新規透析導入患者数は約3~4万人です。一方で、腎移植手術件数は年間2000例前後であり、圧倒的に透析治療を行う割合が多いのが日本の特徴です。私たち腎臓外科の使命は、腎臓内科と連携し腎不全治療にあたることはもちろんのこと、さらに腎移植手術件数を増やし、腎移植手術をもっと身近な治療にすることです。

腎臓に興味を持っている方、手術が大好きな方、手術は好きでなくとも免疫抑制療法など移植内科に興味を持っている方、熱中できる何かを探している方、その一方でワークライフバランスを重視したい方などなど、どんな方でも大歓迎です。腎臓外科に興味を持たれましたら是非見学にいらして下さい。医局員一同、心よりお待ちしております。

文責： 清水 俊洋

